

住民の声

熊井地区を
お訪ねしました！

熊井地区は、伊与喜地区の南西部に隣接、かつ土佐くろしお鉄道沿線の東側に位置し、地区長によると戸数は24戸、人口48人で、その内65歳以上の方が23人ほどで高齢化率は45%ほどとのこと

です。主な産業は、水稻栽培やシメジ栽培、ハウス園芸、かんきつ類の栽培などの農業とのこと。また、毎年、秋のお祭りや敬老行事なども住民

の積極的な参加により難しくこなされ、更には、3戸一組で2カ月に一度、集会所や地藏様、八幡様、駐車場の清掃をされているとのことでした。

3月下旬におじゃまをしましたが、桜の咲き誇る中、シメジ工場（中段写真矢印の先）では沢山の温かい笑顔にも出会え、元気を頂きました。



地域を見守る「熊野神社」(上と左)



咲き誇るソメイヨシノ

熊井地区を南西部より望む。手前は土佐くろしお鉄道、左端には熊真権現橋が望める



手際よく進むシメジの袋詰め作業(下)



休憩時、訪れた吉門区長(左端)との会話もはずみしました(右)



当地区の特徴は、小集落ゆえか近所づきあい良く、高齢などで農作業が出来なくなった田なども近所の方が栽培するなどし、荒れ田は少なくなっています。

吉門 賢一 区長の声

しかし、高齢化率も高くなっている上、U・Iターンによる転入者もなく、保育所、学校に通っている児童・生徒もいない状況で、5年後、10年先を多めに心配しています。

議会や行政への一言ですが、当地区のよくな小集落の維持・活性化へ、より一層の取り組みをお願いします。

編集後記

今回、私が議員になって以来8年間で初めて一般会計当初予算に修正案が出され、それが可決されて予算の一部が削除となり、その件はからの再検討となった。

この件では、委員会でも多くの時間を割く中、ことを運ぶに当たっては、皆での合議が大事というのを再認識させられる結果となった。

私たち広報の委員会も今回で任期が残り、5月には新たなメンバーで再スタートとなる。

話し合いを重視し、住民にとってより良い広報誌づくりになることを期待して…。

(宮川 徳光)

議会広報常任委員会

- 委員長 宮川 徳光
- 副委員長 浅野 修一
- 委員 小松 孝年
- 同 坂本 あや
- 同 藤本 岩義
- 同 宮地 葉子